

## 2021 年度事業計画

（2021-04-01 ～ 2022-03-31）

### 【0】基本方針・重点課題

1. 第2世紀に歩み出して間もない本会は、中長期的な視野の下、事業・運営方法を見直しつつ財務体質を強化し、会員の拡大・定着に努め、エスペラント会館の将来についても検討を開始する。
2. コロナ禍を越えた新しい形のエスペラント活動のあり方を検討し、可能なものから実行に移していく。
3. 多言語・多文化共生時代において、少数言語をはじめ多様な言語の尊重が重要視される今、エスペラントが果たす役割について、エスペランティストへの啓発、また、社会との協働に努める。
4. 各部の活動を活発化させるため、新たな部員を幅広く募集する。

### 【1】エスペラント普及事業

（担当：普及推進部）

#### 【1.1】基本事業

1. 国内外のエスペラント組織と連携し、エスペラントの存在意義、魅力を伝え、エスペラントを普及する活動を行う。
2. 本会会員との連携を強化し、会員以外の個人、団体とも協働の輪を広げ運動の発展を図る。
3. エスペラント界外との連携、協働を進める。
4. 広報委員会の活動を軸として一般への効果的なエスペラント広報活動を進める。

#### 【1.2】エスペラント普及推進事業の計画

1. 国内のエスペラント運動の現状を把握し活性化を図る。

（1）『*La Revuo Orienta* / エスペラント』（RO誌）2021年4月号に発表した「運動年鑑」の情報を生かし、活用する。

（2）広域、地域、専門、学校関連の各エスペラント団体に対し、2021年の活動に関する情報の提供を依頼し、RO誌2022年4月号に「2021年エスペラント運動年鑑」として発表する。

2. 各種エスペラント団体と協働し、各エスペラント団体の活性化に寄与する。

（1）地方エスペラント連盟の大会などに理事・協議員が出席し、各地のエスペラント運動の状況について意見交換を行うように努める。

（2）「エスペラント会懇談会」や、そのメーリングリストの運営を行い、情報の共有、経験交流を図り、展示資料、広報チラシ等の資料整備と共有に努める。

3. 会員の拡大・定着に努める。

（1）引き続き会員の拡大、定着のための方策を検討し実行する。

（2）青年エスペラント企画支援金を活用して、青年層のエスペランティストの活動を支援する。

（3）青年エスペランティストの活動の場を提供したい各種エスペラント団体にも青年エスペラント企画支援金の活用を促す。

4. 運動に功績があったエスペランティストに「小坂賞」を授与し、内外にその功績を広める。

#### 【1.3】エスペラント広報事業の計画

1. 本会ウェブサイトにおいて、エスペラン

トに関する、また行事・講習会等に関する情報を、一般向けによりわかりやすく提供できるように内容の充実を図る。

2. ウェブサイト以外にも SNS、動画サイト等の活用をさらに進め、より広い層への効果的な広報に努める。
3. マスコミ向けのニュースリリース「エスペラントの今」の定期的な発行を行う（年4回程度）。
4. 広報材料の拡充につとめる。
  - (1) エスペラントを効果的に紹介する、またエスペラントを用いた国内外の動画の活用にも取り組む。
  - (2) 第4回エスペラント紹介動画コンクールを開催する。一般公募により、エスペラントの魅力に気づいてもらう裾野を広げる。
5. 外部行事（グローバルフェスタ等）への参加、発表等を通して広報活動を行い、また多言語・多文化共生時代を意識して、関連する外部の団体との交流や協働を図る。
6. 第108回日本エスペラント大会(広島市)を機会とした広報活動を強化する。
7. 日本における「エスペラントの日」(6月12日)と全世界的な「エスペラントの日」(『第一書』の発表された7月26日)の効果的な活用を図る。
8. 世界エスペラント協会 (UEA) による広報に協力・協働する。

## 【2】エスペラントを用いた

国際交流事業 (担当：国際部)

### 【2.1】基本方針

1. エスペラントによる国際交流事業を、特に世界エスペラント協会 (Universala Esperanto-Asocio = UEA) の日本における国別代表組織として推進する。UEA のアジア・オセアニア委員会 (Azia-Oceania

Komisiono = KAOEM)、日本の UEA 委員、UEA-delegito (都市代表者) と協働する。

2. 日本のエスペラントистが行うエスペラントによる国際交流事業を支援する。
3. 外国のエスペラントистに日本国内のエスペラントによる国際交流事業への参加を促す。

### 【2.2】国際交流事業の計画

1. 2021年に開催される国内外のエスペラントによる国際交流行事への参加・協力を呼びかける。特に青年層に「青年エスペラント国際行動支援金」制度を活用しての参加を呼びかける。

(1) 第106回世界エスペラント大会(英国北アイルランドのベルファスト7月17日～24日)。UEA委員には委員会への出席を支援し、日本のエスペラントистには大会への参加・協力を呼びかける(ただし、大会参加旅行団は実施しない)。

(2) その他、第39回東アジア青年エスペラント国際セミナー (Komuna Seminario) など、日本国内外やインターネットで開催されるエスペラントによる国際交流事業に協力し、参加を呼びかける。

2. 日本のエスペラントистへの支援として、国際文通サービスを継続する。

3. KAOEMの機関紙 *Esperanto en Azio kaj Oceanio* (季刊)の編集・印刷・発送の支援を行うと共に、広く購読 (UEA アジア・オセアニア基金への寄付) を呼びかける。

## 【3】エスペラント研究教育事業

(担当：研究教育部)

### 【3.1】基本方針

コロナ禍の時代に相対し、各種事業でインターネットの活用を推進していく。また、多言語・多文化共生時代に適応したエスペラン

ト語学教育のかたちを具体化し、学校教育や社会に提案・連携できるように努める。

1. 教育部門は、オンライン会議システムを用いて地域を問わず、エスペラント学習者の語学力向上の支援に努める。
2. 研究部門の発表をウェブセミナー形式でも行えないか検討する。従来の日本大会での対面発表やウェブでの発表を通して、研究成果発表場所の提供や学際的・多目的視野からエスペラント研究の発展と増強を図る。
3. 芸術分野の振興を図るため、コンクール等の施策を行う。
4. ハヶ岳エスペラント館については新型コロナウイルス感染症の動向を鑑みて再開し、本会の研修施設として活用する。

### 【3.2】研究教育事業の計画

1. コロナとの新生活に即した形で、エスペラントのオンラインでの学習や学習支援を充実させていく。下記の2つのコンテンツを連携し、エスペラントに興味を持つ人や学習者が本会を活用できる場を作る。
  - (1) ウェブ教材「ドリル式エスペラント入門」の活用を推進し、学習支援事業を継続する。
  - (2) 遠隔地からでも参加できるオンラインセミナーを開催する。
2. 学力検定試験を日本エスペラント大会とエスペラント会館（東京3月）での定期実施の他に、受験希望にできるだけ応じて実施する。検定基準を明確にして公表できるようにする。
3. UEAの主催するKER試験（ヨーロッパ言語共通参照枠CEFR準拠のエスペラント試験）の実施に協力する。
4. 日本エスペラント大会で研究発表会および文芸コンクールを実施する。

### 【3.3】ハヶ岳エスペラント館における事

## 業の計画

1. 新型コロナウイルス感染症対策を実施して、安心・安全な利用ができるようにする。
2. 快適な宿泊研修活動ができるよう、設備更新・館の保全を図る。
3. エスペラント漬け合宿（NEK）等、研修を行う。

## 【4】エスペラント雑誌の刊行事業

（担当：編集部）

### 【4.1】基本方針

1. 雑誌『*La Revuo Orienta* / エスペラント』(RO誌)を下記の方針で発行し、エスペラントの普及発展に資する。
  - (1) エスペラントを学ぶ人にとって学習のよりどころとなる。
  - (2) エスペラントを使う人にとって実用の場を深め、広める。
  - (3) エスペラントを広める人にとって情報源となり、運動の活力となる。
  - (4) エスペラント経歴の深浅にかかわらず、魅力的な誌面構成になるよう努める。

### 【4.2】雑誌刊行事業の計画

1. RO誌を下記のように刊行する。
  - (1) 印刷版としてA5判40ページを原則とした雑誌を毎月発行する。ただし8・9月号は合併号とする。
  - (2) 電子版は、個人会員に本会ウェブサイト内の会員専用ページで提供する。
  - (3) 視覚障害者向けには、印刷版を抜粋した音声版CDを発行する。また点字版の制作に協力する。
2. 編集体制は、毎月の編集部会を中心とし、年1回拡大編集部会を開く。
3. 各号は、ニュース記事・定例記事・特集記事など多様な内容とし、日本語文とエスペラント文の双方を掲載するよう編集する。特集記事は、本会とエスペラント界の動向

を反映しつつ、編集部会で計画する。

4. 他部門との連携により、一部の号は増ページした特集号として発行する：4月号に普及推進部と「運動年鑑」特集、2022年1月号に大会組織部と「第108回日本エスペラント大会報告」特集。
5. 連載記事の見直しや編集体制の見直しを図る。

## 【5】図書等刊行・頒布事業

(担当：出版部)

### 【5.1】基本方針

1. エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行う。
2. 内外のエスペラント図書を仕入れて販売する。また国外で発行されたエスペラント雑誌購読を取り次ぐ。

### 【5.2】図書刊行事業の計画

1. 出版物として下記を検討する。またその他、具体的な出版物の案がある場合検討する。
  - (1) 阪直氏ホームページ『週刊やさしい作文』の出版を検討する。
2. 今後の出版物の準備、計画を行う。
  - (1) 『日本語エスペラント辞典(宮本正男編)』の全面改訂作業を新日本語エスペラント辞典編集委員会のもと進めてゆく。

### 【5.3】図書頒布事業

1. エスペラント書籍の販売、取り次ぎを行う。
2. 「エスペラント読書相撲」、読書会の推奨などを通じて、エスペラント図書の拡販に努める。

## 【6】エスペラント大会主催事業

(担当：大会組織部)

### 【6.1】基本方針

1. 日本エスペラント大会は、国際語エスペラントの実用及び活用、並びに学習、研究及び創作の発表の場であるとともに、エスペラントの存在を社会に知らせ、普及を進める催しでもある。同時に日本国内外のエスペランティスト同士が交流し、親交を深め、エスペラント界の文化を高める場でもある。本会はこのような意義を持つ本大会を、日本各地のエスペランティストの協力を得ながら毎年開催する。
2. 本大会の開催が、共同主催団体の活性化と開催地域でのエスペラントの普及推進に寄与できるよう努め、その効果について振り返る。
3. 本大会の毎年の開催を持続可能なものとするべく、経験の蓄積と共有を行う。

### 【6.2】日本エスペラント大会主催事業の計画

1. 第108回日本エスペラント大会を広島市において次の要領で開催する。
  - (1) 開催日：2021年9月18、19、20日(土・日・月祝)
  - (2) 会場：MSアステールプラザ(文化創造センター・国際青年会館・中区民文化センター)
  - (3) 共同主催団体：広島エスペラント会
2. 2022年の第109回日本エスペラント大会の開催地・開催方法を決定し、開催準備を進める。
3. 2023年の第110回日本エスペラント大会の開催地・開催方法を検討する。
4. 日本エスペラント大会の開催を持続可能なものとするために、準備・運営体制や、インターネットを利用した開催方法の検討も進める。

### 【7】その他事業及び法人の管理

(担当：総務部、財務部、ウェブ管理部)

### 【7.1】基本方針

1. 本会のエスペラント事業の核となる会員の活動を支援し、会員数の拡大・定着に努める。
2. 各事業部門と連携し、事業が円滑に行われるよう支援する。
3. 今後起こり得る様々な状況に鑑み、本会のより効果的な管理・運営方法の見直しと確立に取り組む。特に、新任の役員等に対しては運営上のルールや方針を記したマニュアルを整備し、支援する。

### 【7.2】総務部担当事業の計画

1. 総務部の職務（庶務、会員管理、エスペラント会館管理活用、役員支援など）を事務局および関連委員会（選挙管理委員会、小坂賞委員会）の協力を得て、着実に実行する。
2. 事務局の課題には、財務部とともに事務局会議を定期的に開き対応する。
3. 図書館の整備事業の中のデータベース作成作業に取り組む（JEI 創立 100 周年記念事業の継続）。
4. 図書館整理作業を継続して行う。
5. 図書販売促進のため、行事を利用した機会の他、ウェブの活用を強める。
6. 「エスペラント会館の今後を考える検討委員会」を立ち上げ、会館の将来についての具体的な検討を開始する。
7. 本会事業の継承のため、および理事・協議員の資料へのアクセスを容易にするためのクラウド情報保管庫の利用を促進し支援する。
8. 会議や行事等はできる限りリモートでできるよう、体制・設備を整え支援する。
9. 緊急時対応マニュアルの制定を行う。

### 【7.3】財務部担当事項の計画

中長期的な視野の下に堅実な収支運営、財

務体質強化を図り、本会の事業の執行を財務面から支える。

### 【7.4】ウェブ管理部担当事項の計画

1. 本会ウェブサイトが、本会事業の広報はもとより、広く利用者に有用な情報を提供できるよう、維持管理を行う。また、点字ファイル保管庫の充実、ウェブ・アクセシビリティへの対応等、本会ウェブサイトの利便性向上のために必要な措置を行う。
2. SNS、動画サイト等によるエスペラントの広報を支援する。
3. 会員ページ（本会会員がパスワード付でアクセスするページ）で、会員に有用な情報提供の充実を図る。
4. 本会のあり方に対応したウェブ共同運営体制を構築するための検討をおこない、段階的に実行に移す。また、新たなクラウドストレージの検討なども含め、本会業務の円滑な遂行に有益な情報技術利用を支援する。
5. 販売図書管理の効率化のため、出版部、編集部、総務部（事務局）と協力してシステム化を検討する。
6. 「本格的にエスペラントを学ぶほどではないが、雑学・語学教養としてかじってみたい」というライト層向けに、普及推進部、研究教育部と協力してコンテンツの維持・拡充をおこなう。

以上